

## がん専門医に聞く

富山労災病院

呼吸器内科部長

かわさき あきら  
川崎 聡

### — 毎年肺癌検診を受けていたのに… —



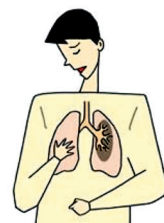
「毎年肺癌検診を受けていたのに・・・」。肺癌検診を受けていても、咳や血痰などで病院を受診され進行肺癌が見つかる方がおられます。今回は肺癌検診について考えてみたいと思います。

1998年には当時の厚生省より肺癌検診について「肺がんの生存率は一般に極めて低い。しかし、肺がん検診を逐年受診することの有効性は示唆されている。ただし、現行の方法による肺がん検診の効果は、あっても小さいことは事実である。」と報告され肺癌検診への信頼性が揺らいでいました。呼吸器科医として病院で勤務していると、検診で発見された患者さんでは比較的手術が可能な例を多く経験します。肺癌では手術が唯一の根治療法といっても過言ではありません。より多くの手術可能例が見つかる肺癌検診が「意味がない」と言われることは私の実感とは程遠いと思っていました。ところが、2005年に再び厚労省から発表された

「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン」や2011年の肺癌学会からの「肺癌集団検診ガイドライン」では推奨レベルがアップし「肺癌検診を行うよう勧められる」となりました。

これは、肺癌の外科治療や術後化学療法の進歩などによって、肺癌の生存率が以前より良くなってきたためです。最近の報告をみますと、検診で発見された癌は症状が出てから発見された癌に比べて早期癌の割合が高く、肺癌死亡による5年生存率は、検診発見群で38～55%、症状発見群で15～18%になるそうです。この差は大きいのではないのでしょうか？

しかし、冒頭の患者さんのような方は現在の検診だけでは無くせないのも事実です。肺癌では進行の速い癌があります。一つの方法として、現在の胸部レントゲン写真では映らないような早期の癌を見つけようと、検診に低線量CTを導入しようと試みられています。放射線被曝の問題、費用や体制の問題、癌かどうか分からない小さな影がたくさん見つかってしまう（過剰診断）問題などがあって、現在有効性について研究中です。（ちなみに放射線被曝量は胸部レントゲン0.05mSy、低線量CT1.2mSy、胸部CT6.9mSyとなっています。）



ではどうしたらいいのでしょうか？検診の受診間隔でわかっているのは、最終の受診から1年以上開いた場合は効果はないことです。逆にもっと短期間での検診でのさらなる有効性についての検討は殆どなされていません（ということは可能性があるか？）。そこで、私なりに考えてみますと、肺癌検診を受ける他にも「かかりつけ医」を持って些細な症状でも気になる場合は気軽に胸部レントゲン検査や痰検査をしていただくのがよいのではないのでしょうか。あと最後に大事なことを。肺癌の原因の一番はもちろんタバコです。耳にタコができるくらい聞いておられると思いますが・・・。

みなさんの健康を祈念しています。

ご質問やご相談は地域医療連携室まで、また富山労災病院ホームページもご覧ください。

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構  
富山労災病院 地域医療連携室  
〒937-0042 魚津市六郎丸992

Tel: 0765-22-1354

Fax: 0120-935-631 (フリーダイヤル)

### 富山労災病院 救急外来からのお知らせ

富山労災病院では終日救急患者の診療を行っております。また、平日の午後5時以降および休日は救急外来を開設しており、病状により専門医師が診療いたします。

受診される場合22-1280までお電話下さい。



# リハビリテーション科紹介



—リハビリテーション情勢—

リハビリテーション科 技師長 二川直人（ふたがわ なおと）



技師長（前列左から3人目）

「リハビリテーション」は略して「リハビリ」と呼ばれることが多く、近頃はテレビ等でも取り上げられる機会が増え、その理念は広く社会に浸透しつつあります。一般には「障害・苦難を克服し、以前の活動を取り戻すために訓練を重ねる」というイメージでしょうか。当院でのリハビリテーションも概ねその通りです。病気やけがによる障害から元の生活に戻ること、職場に復帰することを治療の目標としています。また、最近は早期からリハビリを実施する

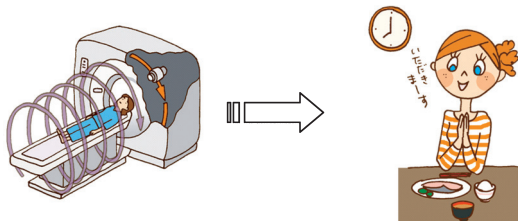
ことの重要性が叫ばれ、早期離床から早期活動を目指すことが主流となっています。疾病に対する医療技術が向上したとはいえ、病のため心身機能が大きく低下している早期での訓練には、転倒防止等、リスク管理に十分な配慮と多くの介助を必要とします。この時期に手間と時間を惜しまないことが早期社会復帰に繋がると信じて、日々、患者様とともにリハビリに取り組んでおりますので、御家族の方々にもご理解、ご協力をいただければ幸いです。



## がん検診を受診しましょう！

幸せな毎日を過ごすためには、健康であることが何よりも大切です。

自覚症状がなくても定期的ながん検診を受診し、がんを早期に発見しましょう。当院健康診断部では人間ドック、脳ドックに加え気になる部位のがんを発見するため肺がん、胃がん、乳がん、子宮がん等のがん検診を実施しています。



予約・お問合せは  
富山労災病院 0765-22-1280（代表）  
内線 2 1 9 健診係  
※予約制となります。

健康保険組合、市町村等によっては、費用が補助される場合もありますので一度加入されている保険者へご確認ください。

## 専門外来の紹介

物わずれ外来：(月)(木) 午前10時～12時  
頭痛外来：(火)(木)(金)  
午前11時～12時  
しびれの外来：(月)～(金) 午前9時～12時

関節外来：(月)～(水) 午前9時～12時  
腰痛外来：(水) 午後1時30分～4時  
リウマチ外来 整形：(火) 午前9時～12時  
リウマチ外来 内科：(月) 午後2時～  
尿失禁外来：(水) 午後1時30分～3時

今月の休診：(内) 石木 2日、藤村 8日 (整) 渡邊 6日・8～10日・23～24日 (脳) 木谷 13日  
(整) 平岩 27日～3月1日 (耳) 遠藤 3日 (外) 竹下 10日